

森林整備の大切さを広める広告塔

高校生が福岡県産の木材で本棚を製作

3月6日、田川科学技術高等学校から4台の木製本棚が伊田商店街に運ばれ「街なか図書館・美術館」に寄贈されました。寄贈当日は、新型コロナウイルスの感染リスクを考えて生徒は欠席。生徒の思いも一緒に教員2人(写真中央)が納品しました。

この本棚は、同校の生徒が学校で学んだ知識や技術を駆使して丁寧に仕上げた作品。材料には福岡県内の山林が育んだ木材(地域材)を使っています。この取り組みは、市と同校が連携して進めている「木製品等展示事業」の一環。身近な地域材を使った製品を市民が訪れる公共施設などに展示し、地域材を使うことの重要性や間伐などによる森林整備が果たす役割(水質浄化・土砂流出防止など)を伝えることが目的です。本棚とともに、森林や林業のことを漫画で学ぶことができるパンフレット「人to木」を設置して啓発しています。



▲本を選びながら木の香り・手触りを楽しむことができます



▲「人to木」発行:林野図書資料館



▲生徒の力作と一緒にパチリ

※街なか図書館・美術館は、新型コロナウイルス感染予防を目的に休館中です。6月中旬以降の開館を目指しています。詳しくは市美術館(☎ 42-6161)に問い合わせください。
※本棚は、6月中旬以降に後藤寺商店街の街なか図書館・美術館に移設予定です。



WATARIDORI
～渡り鳥～

ドイツからやってきた国際交流員(CIR)のアネマリー・グンツェルさんが、ドイツの文化や田川での生活を紹介します。

●アネマリーさんのブログやInstagramを公開中!



Instagram



ブログ

音楽の夏:ドイツの野外フェスティバル

気温が上がり日長になると、ドイツでは野外フェスティバルの季節が始まります。野外フェスティバルはとても人気があり、毎年さまざまな場所で開催され、各地の観客を合計すると、約400万人にもなります。

なかでも人気があるのは、2つの場所で同時に開催され、出演アーティストを入れ替える「Rock am Ring」と「Rock im Park」です。昨年は計157,500人を動員し、ドイツで最も多い観客数を記録しました。ちなみに、日本でも同じ方法で開催されている野外フェスティバルがあります。それは、毎年大阪と千葉で行われる「サマーソニック」です。観客数は、日本では最も多く、昨年は135,000人が訪れました。

ドイツ人に野外フェスティバルが人気の理由は、ドイツだけでなく、アメリカやイギリスなど、さまざまな国のアーティストを一堂に観ることができるからです。また、好きな音楽を聴き、日常を忘れて楽しむことができることも人気の理由のひとつです。

ドイツの多くの音楽ファンは、毎年の野外フェスティバルを心待ちにしています。



今日の言葉
ムズィーフフェスティバル
Musikfestival (音楽祭・野外フェスティバル)